

令和8年1月13日

介護支援専門員

介護・医療・行政関係者 みなさま

特定非営利活動法人

宮城県ケアマネジャー協会

会長 森 田 潔

第1回 宮城県ケアマネジャー協会

実践事例発表会のご案内

「要介護になっても、誰もが住み慣れた地域でその人が望む生活を送る」ことを社会で支えるしくみ「介護保険制度」が始まり、あっという間に25年が経過しました。

これまでの取り組みと実践を振り返り、介護保険の要である「ケアマネジメント（介護支援）」について見つめ直したいと思います。

平成12年3月24日に設立した宮城県ケアマネジャー協会の今までの活動、役員による全国大会での実践研究発表の内容紹介、県内8支部（気仙沼、石巻、登米、栗原、大崎、塩釜、仙台、仙南）での様々な実践事例の発表と意見交換をする「実践事例発表会」を下記のとおり開催いたします。（詳細裏面）

介護支援専門員はもちろん、介護・医療・行政関係のみなさま、多くの参加をお待ちしております。

記

日 時 令和8年2月21日(土) 10時～16時30分（受付9時30分～）

場 所 TKP 仙台青葉通りカンファレンスセンター7階

仙台市青葉区一番町2-4-1 青葉通パークビル

内 容 1 口演発表及びポスター発表（ポスター展示）

日本介護支援専門員協会全国大会での実践研究発表内容の紹介

2 実践事例発表

第1分科会 ノーマライゼーション 8題

第2分科会 意思決定支援 8題

第3分科会 質の高いケアマネジメント 8題

定 員：会場100名、リモート100名

参加費：無料

申込み：下記リンクかQRコードから、2月11日まで

<https://forms.gle/ZTFN3aZpGvsFWFj49>



特定非営利活動法人 **宮城県ケアマネジャー協会**

仙台市青葉区本町3-6-18 勾当台イーストビル5階C

Tel 022-716-0716 Fax 022-716-0717 サポートセンター 022-716-0718

E-mail : mail@mcma.or.jp URL : <https://www.mcma.or.jp>

事務局：菅原洋子 横山結衣

第1回 宮城県ケアマネジャー協会 実践事例発表会

1 目的

時代の流れとともに、利用者が抱える生活課題は、本人のみならず世帯や地域など幅広く、また問題も複雑化してきているのが現状です。そんな中、われわれ介護支援専門員に求められる役割や責任も増えてきました。

今回は、これまでのケアマネジメントの実践を振り返り、現場で培った知見や工夫を共有し、相互の学びと支援体制の強化を図ることを目的とします。

2 テーマ

「これからのケアマネジメント」 ～日々の実践と振り返り～

3 次第 ※終日ポスター展示

10時～10時10分 開会挨拶 オリエンテーション

10時15分～12時

(1) 口演発表及びポスター発表 日本介護支援専門員協会全国大会発表者

- ① ソーシャルワーカーとしてのケアマネジャー 高平 比呂子
- ② ケアマネジャーの力量アップによる役割拡大に向けて 片倉 朋和
- ③ 災害とケアマネジャー 佐藤 健太郎
- ④ 医学モデル及び代行決定からの脱却 高橋 利行

12時～13時 昼休憩

13時～16時15分

(2) 実践事例発表とディスカッション

第1分科会 8題

(テーマ) ノーマライゼーション

(趣 旨) 介護保険制度が始まり 20 年以上が経過し、果たしてサービスを利用することで、その人にとっての当たり前の暮らしは実現されているのだろうか。サービスを利用することで、支援者側の都合やルールを押し付けられることで、窮屈になっていないだろうか。

日頃の関りの中で、「当たり前の生活」を意識した支援が展開出来ているか、実践事例を振り返り「これからの関り」について検討していく。

第2分科会 8題

(テーマ) 意思決定支援

(趣 旨) 「あなたのためを思って」と関わる側が勝手に決め付けて関わっている場面はないだろうか。その人ひとりひとりの能力をきちんと捉え、その人にとって分かりやすい説明が行われ、自分で選んで決めるために提案がなされているだろうか。

支援の基本である自己決定支援について、実践事例を振り返りながら「意思決定能力＝本人の能力＋支援者の能力」について検討していく。

第3分科会 8題

(テーマ) 質の高いケアマネジメント

(趣 旨) 病気の時には医療機関で、医師や看護師等による医療提供が当たり前のように、介護においてもサービスの必要性があると、ケアマネジャーというのはだいぶ定着してきている。その中でも、介護過程の一連のプロセスや運営基準といった順守項目についてどのくらい、日ごろの業務において意識できているものだろうか。

我々ケアマネジャーに求められる、「公正中立」とは何か、実践事例を振り返りながら「質の高いケアマネジメント」について検討していく。

16時15分 閉会 閉会挨拶

※ 終了後、同会場で懇親会・交流会を予定しています。別途ご案内します

【口演発表及びポスター発表】全国大会発表

▶ソーシャルワーカーとしてのケアマネジャー 高平比呂子 ▶ケアマネジャーの力量アップによる役割拡大に向けて 片倉朋和 ▶災害とケアマネジャー 佐藤健太郎 ▶医学モデル及び代行決定からの脱却 高橋利行

【第1分科会】ノーマライゼーション

▶題名：新規相談から始まるノーマライゼーション 発表者：国見地域包括支援センター 中村優子 共同発表者：宮城県ケアマネジャー協会仙台支部 青葉区役員 ▶題名：施設入所とノーマライゼーション 発表者：介護老人保健施設さくらの杜 加藤千春 ▶題名：未定 発表者：グループホーム七ヶ浜桜の家 赤間とわ子 共同発表者：利府町北部地域包括支援センター 大森圭太、吉ノ町介護支援センター 大場 歩 ▶題名：未定 発表者：米山居宅介護支援事業所 田口信宏 ▶題名：未定 発表者：居宅介護支援事業所ケアトラスト 佐藤浩一 ▶題名：施設でもその人らしい生活 発表者：くりはら介護支援事務所いちょうの里 川股紀史 共同発表者：居宅介護支援事業所りつわ 齋藤美由紀、居宅介護支援事業所イーカル 佐々木裕子

【第2分科会】意思決定支援

▶題名：生活継続に向けた意思決定支援の取り組み 発表者：有限会社鴻巣 鴻巣ケアプランセンター 仙台南 寺崎美紀 共同発表者：株式会社福祉ケアサービス シルバーメディアケア南仙台 益子拓人 ▶題名：意思決定支援 発表者：JAみやぎ仙南白石介護支援センター 茂木由紀 ▶題名：未定 発表者：悠泉居宅介護支援事業所 丹野幸一 共同発表者：利府町中央地域包括支援センター 佐々木幸子、ケアプランセンターしおがま翔裕園 山本和子 ▶題名：未定 発表者：居宅介護支援事業所ひまわりなかだ 久光知香子 ▶題名：未定 発表者：大崎東部居宅介護支援事業所 松本綾 ▶題名：（仮称）看取りについて ～本人が決めるということ～ 発表者：グループホームSAKURA 梅宮将 共同発表者：宮城県ケアマネジャー協会栗原支部副支部長 小野寺まゆみ、栗原市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 萩野奈美

【第3分科会】質の高いケアマネジメント

▶題名：病院から在宅への切れ目のない多職種連携 ～Y・S様の在宅復帰支援事例を通じて～ 発表者：医療法人社団俊香会 羽生の丘居宅介護支援事業所 太田美津枝 共同発表者：コスモスケア株式会社 コスモス向陽台 後藤慎一 ▶題名：仙南支部の活動 発表者：加藤千春 ▶題名：未定 発表者：ソーシャルライフプラス 平山裕美子 共同発表者：仙塩総合病院居宅介護支援事業所 雁部雄次、指定居宅介護支援事業所恵愛 額岸智美 ▶題名：未定 発表者：居宅介護支援事業所なかなか 星尚子 ▶題名：未定 発表者：ケアプラン三本木 吉村英晃 ▶題名：学ばナイト ～これまでの新任者研修の取り組み～ 発表者：栗原訪問看護ステーション居宅介護支援事業所 千田麻美 共同発表者：居宅介護支援事業所おんりーぶらん 須田昭、居宅介護支援事業所マイライツ 片倉朋和
2026.01.14.現在

ケアマネジメント 実践事例発表会



日時 令和8年2月21日(土) 10時～16時30分

場所 TKP仙台青葉通りカンファレンスセンター7階

仙台市青葉区一番町2-4-1青葉通パークビル

内容 1 口演発表及びポスター発表（ポスター展示）

2 実践事例発表

第1分科会 ノーマライゼーション 8題程度

第2分科会 意思決定支援 8題程度

第3分科会 質の高いケアマネジメント 8題程度

定員：会場100名、リモート100名

参加費：無料

申込み：QRコードから、2月11日まで



特定非営利活動法人宮城県ケアマネジャー協会

仙台市青葉区本町3-6-18 勾当台イーストビル5階C

Tel 022-716-0716 Fax 022-716-0717 サポートセンター 022-716-0718

E-mail : mail@mcma.or.jp URL : https://www.mcma.or.jp